

## 学校長挨拶（令和5年4月15日土曜日 学校教育説明会）

校長 吉田 稔

新緑がまぶしい季節になりました。今年度からマスクなしの教育活動が基本となりました。生徒も先生も花粉症防止のためもあり、まだマスクをする場面が多いようです。今年度も行事は感染防止対策を図った上で、原則として制限なしの方針で実施します。また、今年度から総合的な学習の時間にお招きする地域のゲストティーチャーを増員して、学年テーマに加え、ホタル（1年）、防災・茶道体験（2年）、町づくり（3年）について青梅学と題して地域の方とともに課題解決学習に取り組む予定です。



3年生の給食準備の様子。  
この日は大好きなカレーでした。（4/11）

### 1 学校目標について

次の3点は、生徒に身に付けてほしい資質・能力です。

学校HP「日々のアップ」は  
こちらからも見られます→



- ◎優しい人 （人間関係形成力を身に付けようとする生徒）道徳を中心にした全教育活動で身に付ける。
- ◎正しい人 （課題解決力を身に付けようとする生徒）各教科・総合のような学習を中心にした教育活動で身に付ける。
- ◎たくましい人 （実践力を身に付けたようとする生徒）特別活動〔学活・行事・部活など〕を生活を中心にした教育活動で身に付ける。

### 2 学習評価の方法について

一昨年度から学習評価の方法が下記のように大きく変わりました。

中学校では、令和3年4月から評価規準の観点数に変更となりました。これまでの4つまたは5つ⇒すべて3観点に変更しました。新しい評価規準は次の3つです。

**「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」**

3つの観点がそれぞれA～Cで評価し、これを総合して5～1の5段階に評定して成績が決まります。これらの観点のうち3番目の「主体的に学習に取り組む態度」については、粘り強さと学習の調整の両方をバランスよく工夫することを評価します。これまでのように提出物を全部出しているとか、毎回挙手をしているとかいうようないわゆる態度だけではB（おおむね満足できる）として評価することはありません。提出物の中味、例えば粘り強さが発揮されている内容か、そして手を挙げても学習課題に沿って考えて（学習の見通しをもって、学習の意義を理解し、学習の進め方をコ

ントロールし、次の学習に結び付けて等により)自ら学び方を工夫している発言内容かどうかで評価します。なお、「知識・技能」=C、「思考・判断・表現」=C、「主体的に学習に取り組む態度」=Aという評価は想定しにくいことになっています。学習の態度に工夫がみられるならば、少なくとも知識・技能または思考・判断・表現のいずれかはB以上になると考えられるからです。具体的にどこまでどのようにこの観点の学習に取り組んだらよいかは、授業の中で各教科の先生が学習のまとめりごとに取り組むべき内容について説明していきます。なお、努力や情熱など、数値で評価できないものは、個人内評価として通知表の所見でコメントなどの形で評価します。

### 3 全国学力・学習状況調査、保護者の皆様による学校評価結果から

■4月18日(火)に3年生対象の全国学力・学習状況調査が行われます。都の学力調査は5月26日(金)以降に行います(学年により実施日が異なります)。生徒への指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に行います。昨年度の国の調査では生徒の35.5%が1日当たり4時間以上ゲームをしている(都・国は約16%、動画視聴も同様傾向)という結果が出ました。一方で2時間以上または1時間以上勉強する生徒は合計41%(都・国60%)という結果でした。家庭学習の時間を確保することが課題です。なお、地域行事の参加率は60%(都30%)と高い傾向にあり、地域とのつながりを大切にしていることがわかります。

一人一台端末の活用は今年度もGoogleクラスルーム中心に行います。学習支援員による授業での支援及び定期試験前や長期休業中のステップアップクラスにより個別最適な学習に向けて支援を行います。小中連携では、小中合同音楽会の他にも第七小学校への数学出前授業の実施や数学と算数の授業について情報交換を行い、中一ギャップ低減に努めます。

■昨年度1月に実施しました保護者の皆様による学校評価結果は、ホームページに公開しています。学校が楽しいという回答が多い一方で、あまりそうではないという回答もありました。生徒一人一人が活躍できる場をつくる等、教育活動の充実をさらに進めてまいります。結果として全体的に生徒の多くはここ数年、充実した学校生活を送ることができていると思われまます。課題としてはタブレットの活用が学習の効果に結びついているかどうかわからないという回答が昨年度同様、少なくなったことです。授業改善を進めてまいります。

学校評価アンケート結果は  
こちらからも見られます→



### 4 いじめの防止に向けて

学校いじめ対策委員会の基本方針・年間計画に基づき、学校生活アンケートを年5回、いじめ防止に向けた授業(道徳など)を学期1回、校内研修を年1回(1学期末のいじめ防止研修)実施し、未然防止・早期発見・早期対応を目指します。学校はいじめの報告があった場合、いじめの認知の可否に関わらず関係の生徒・保護者の皆様等へも連絡します。昨年度のいじめは1件(解決済)でした。重大事態はありませんでした。いじめは疑いも含めて教育委員会へも報告し、市と情報共有して対応に当たります。なお、昨年度、生活指導部(今年度から「生徒指導部」に変更)で新標準服導入を見込み、校則を一部見直ししました。詳細はホームページをご覧ください。

学校いじめ防止基本方針は  
こちらからも見られます→

